

2018.11.08 水曜

市民第一の対応要求

島根原発 県民連絡会が米子市に

島根県の「島根原発

・エネルギー問題県民

連絡会」の保母武彦事

務局長らは8日、鳥取

県の米子市役所を訪

れ、中国電力島根原発

(松江市) 3号機の新

規稼働、2号機の再稼

働が狙われている問題

で、市民の安全と暮らし

を守ることを第一に

対応するよう申し入れ

ました。

保母氏は、2号機の

新規制基準適合性審査

の終了までに同意権



武田防災安全監(右)に申し入れる保母事務局長＝8日、鳥取県米子市役所

を刺しました。

保母氏らは、島根原

発で過酷事故が起きた

からでは遅い」とくぎ

を刺しました。

保母氏らは、島根原

発で過酷事故が起きた

場合に米子市民も被災

責任を負う」として、

立地自治体の責任に言

及しました。また、審

査内容をチェックでき

る専門家で構成する検

証委員会を設置を求め

ました。武田氏は「い

ただいた意見は県、境

港市と協議したい」と

のべました。

のべました。

(事前了解権)のある

安全協定を中電と締結

するよう要求。市の武

田直樹防災安全監は

「立地自治体と文言の

同じ安全協定へ早期に

改定するよう強く求め

ている。期限は切って

いない」と答え、保母

氏は「3号機が動いて

からでは遅い」とくぎ

を刺しました。

保母氏らは、島根原

発で過酷事故が起きた

からでは遅い」とくぎ

を刺しました。

保母氏らは、島根原

発で過酷事故が起きた

からでは遅い」とくぎ

を刺しました。

保母氏らは、島根原